

12月とは思えない暖かい日が続きます。でも北信五岳は白く染まり、12月の様相を見せてくれています。暖かいお陰で、ジャンパーを脱ぎ捨て、根子岳・四阿山と呼ばれる土山と地下壕には連日子ども達が群がり、ゴム跳びや縄跳びなどで、はね回っている子ども達です。キャーキャーと元気な子ども達の歓声が薪ストーブの煙と混じり合いながら、空に舞い上がっている大地の丘です。

現在、子ども達の遊びスポットは、地下壕のある上部広場が中心になっています。この春に林檎を伐採したドロドロの畑が緑と子ども達の姿に覆われています。今週はその横で、伐採当時「首を切られる思いだ」と嘆いた林檎を育ててきた父親がチェーンソーで薪を切っていました。子ども達の遊ぶ姿をどう見ていたのでしょうか。

実りの11月は終了しました。別紙の「おひさま」をみても、沢山のことを楽しんで来たことがわかります。特別行事多数ではなく、日常の一コマとして、気張らずにリッパして取り組むことが、大切です。あくまでも季節への直感を大切に、子供心に降りて、大人が楽しみたい事も秘訣hbです。12月、日常の暮らしを大切にしていきます。



【家族期間】

「子どもは高校生になったら同居人」

まさに我が家の次男高1の息子は、朝6時にご飯を食べ、夜9時半過ぎに帰り（青ちゃんは寝ている）、寝るだけ。まさに寝に帰るだけの猛烈サラリーマン並の生活である。家族が家族として日常生活を楽しむのは、(子どもと過ごせるのは)中学まででしょうか。でも、これも年々早くなっているように感じます。

中学でも部活、地域のクラブ活動。小学生でも地域のサークル、塾通い、お稽古事、幼児でも様々な習い事や塾通いなど。エンデの「モモ」にある時間泥棒のように、家族でいられる時間を年々早くから盗まれているように感じます。

「当たり前と同じ屋根の下で同じご飯を食べ、話し遊ぶ暮らし」家族期間は、人生の中でもほんのわずかですね。お金では買えないもの、若さや美貌と共に、家族期間も同じですね。それは、孫が来るまでお預けでしょうか。乳幼児を持つ家族が羨ましい年齢となった青山家です。

「また空き部屋ができた」

長女が長野市内にアパートを借りて、いよいよ一人暮らしを始めた。娘は、もう家には帰らないらしい。「自分の人生を冷静に考える期間」のために一人暮らしは絶対にしたいと思うし、形は違えど、長男の世界一人旅と同じ人生だと思ふ。同じ一人暮らしでも、東京や外国のほうが、親としては寂しさに割り切りはつくのだが、通える範囲内の長野市内では、もう一歩緊張感の欠如と割り切れのなさがある。

本人曰く、「大地が好きだし、ちょうど良い距離にいるのよね」という気持ちらしい。連日、自分のお気に入りの家財道具や雑貨を集めている。「安物ではなく、一生使えるお気に入りのもの」を探している。長男の一人暮らしの時は「100円ショップ」などだったが、娘は「骨董屋」や「洪い店」巡りを楽しんでいる。

娘は「ずくなしカフェ」という所でアルバイトをしている。昼間5時間だけの働きではとても暮らしは維持できないので、夕方からもアルバイトをするらしい。はやりのフリーター生活か。でも、娘は、輝いている。ずくなしカフェでは、自分の色を出し、思い通りにやらせてもらい、更に面白い人達との人脈を広げている。自分の中にぶれない思い(頑固)を持っているからであろう。中学生時代の名言「私は人のアドバイスは受けない。それはその人の人生を生きることだから」(単なる自己中心的なのだが)。まさに変わらずに、我が道をいくスタンスは変わっていない。大地の2階には、また空き部屋が出来た。

「林檎売りの2人」

もう20年以上も続く11月下旬の京都林檎売り。当時はバスの座席を全部はずして林檎を積んだり、2トングンプを運転して、木曾の雪道で何度もチェーンをはめたり。狭いトラック席に乳飲み子を乗せて運転したり。行商の後は、家族で京都の遊園地で遊んだり実家で過ごしたり。いつも家族で力を合わせて、林檎の準備から販売まで楽しんでできました。小学生時代も、学校の勉強よりも家族での労働の方が、学ぶべき事が大きいと、学校を公認行事として休み(学校側も理解)林檎売りに精を出してきたこの行事も、今年は、とうとう妻と2人で行くことになった。中学生になった末っ子は、テストと新聞配りでとうとうリタイヤ。いつも、必ず誰かいたのに、クルマのいるべき所に子どもがいない寂しさ。

「家族期間を楽しもう」

大地開園当時に先輩家族に私たち夫婦が学んだ事。乳幼児がいてもこんな遊びや楽しみ事が出来るんだという事。おんぶしても子どもがまつわりついて、作ったり、料理したり、遊んだり、山へ行ったり、豊かに暮らせるんだ。負担ではなく、ありがたく、共に楽しめるんだ。「よし、俺たちも楽しもう。絶対に愚痴は言わない」

子どもが絶対聴きたくない言葉「あなたを育てる事は大変だった」「あなたがいたから、好きなことができなかった」。今、巷では、子どもを育てることは大変、負担、苦労が多いという雰囲気や会話、ニュースが子ども達の耳に否応なく入る。「子ども達がいることは最高」「一緒に出来るから最高」「楽しい子育て」そんな声で溢れる世界でありたい。

お知らせ

夜のお父さんデイ勉強会 12月11日(土)午後5時~

河合隼雄「対話する人間」読み合わせ会とガヤッフォー-を覧る会(夕食付)

父親の課題・家族の対話・良い子にしようと思えるな など子育ての課題を河合隼雄特有の語り口を学びましょう。合わせて、地球交響曲(ガヤッフォー-)もスクリーンで鑑賞します。本は残り2冊ありますが、必要な方はアマゾン等でご購入下さい。父親の繋がりも深まり、夫婦・家族関係が精神的に深まる良い機会だと思います。

参加希望者は 渡辺または大地まで

持ち物:参考本・各自飲み物(アルコール可)・宿泊OK(寝袋) 食費は実費負担です。

大地を考えるアンケートのご協力ありがとうございました。沢山の方々からの思いや意見を頂き感謝申し上げます。スタッフ一同で読み合わせ改善出来る点、すぐ実行できる点、検討すべき点、時間をかけて展望していく点など考えました。現時点での方向性などを、本来、すぐに説明すべきですが、マーケット等での多忙を考慮致しまして、2日の期末懇談会にて、行いますのでよろしく願います。